

やまなし 県議会 だより



5月15日に富士川町内で開催された「恩賜林御下賜110周年記念 令和3年度県民緑化まつり」に参加

六月定例会の概要

県議会は、令和三年六月定例会を六月二十一日から七月六日までの十六日間の日程で開きました。

本定例会では、一般会計補正予算（第七十四号議案、令和三年度山梨県一般会計補正予算）を賛成多数で可決しました。

新型コロナウイルスのワクチン接種体制強化及び検査対象拡充を行うとともに、新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金の支給に要する追加補正予算案（第六号議案、令和三年度山梨県一般会計補正予算）を全会一致で可決しました。

富士急行株式会社が県に対し提起した訴訟において、県が反訴を提起する議案（第七十七号議案、訴えの提起の件）を賛成多数で可決しました。

県が工事請負契約の違約金条項に基づき三十七社に対し公正入札違約金を請求し、うち二十六社から民事調停の申立がなされたため、本年三月に裁判所の調停委員会から提示された調停案を受け入れる件（第七十八号議案から第一百三十三号議案、調停の件）を賛成多数で可決しました。

県有地を巡る弁護士費用一億四千三百万円等の専決処分の承認に係る議案（承第五号議案、令和三年度山梨県一般会計補正予算）を賛成多数で

承認しました。

重大な感染症のまん延又は大規模な災害等の発生により、委員が委員会の開催場所へ参集することが困難と判断される場合にオンラインによる出席の特例を認める議員提出議案（議第十号議案、山梨県議会委員会条例中改正の件）を全会一致で可決しました。

県有地の貸付に関する専門家会議を設置する委員会提出議案（議第十五号議案、調査機関設置の件）を反対多数で否決しました。

静岡県熱海市で発生した大規模土石流により甚大な被害が出たことを受け、政府が推し進める「防災・減災、国土強靱化のための五か年加速化対策」に関連した取り組みの加速化を求めるとともに、本県を含む全国の急傾斜地等の緊急点検を実施し、土砂災害や土石流の発生を未然に防ぐための対策を早期に講じることを国に要請する意見書（議第十六号議案、急傾斜地における緊急点検及び早期の対策を求める意見書）を全会一致で可決するなど、全五十八議案を審議し、五十七議案を可決、承認しました。（各会派の主なる議案に対する賛否は二面）

このほか、地方たばこ税を活用した分煙環境整備に関する意見書の提出を求めることについて他一件の請願を採択しました。

県議会トピックス

大韓民国総領事館総領事が県議会を表敬訪問



5月13日、駐横浜大韓民国総領事館 尹喜榮(ユン・ヒチャン)総領事が県議会を表敬訪問され、桜本議長、杉山副議長と意見交換を行い、本県と同国とのコロナ収束後のさらなる交流を確認し合いました。

東京2020オリンピック聖火リレー出発式



6月26日、南部町内で開催された東京2020オリンピック聖火リレー出発式に桜本議長が参加し、3月25日に福島県をスタートした聖火を、本県最初の聖火ランナーのトーチに点火しました。

新益のあいさつまわりについて

新益のあいさつまわりにつきましては、自粛することを申し合わせています。県民の皆様のご理解をお願い申し上げます。

山梨県議会議員一同



6月定例会県議会では、6月24日、25日、28日、29日の4日間にわたり、代表、一般各質問が行われました。各議員の質問項目は次のとおりです。

代表質問

- 新型コロナウイルスワクチン接種の迅速化に向けた市町村支援
● 弁護士費用の専決処分
● 県立男女共同参画推進センターの集約化
● やまなし地域づくり交流センターの活用
● 地下水に着目した法定外税の導入
● 恩賜林御下賜百周年記念事業
● 本県のエネルギー政策
● 甲府域の復元整備
● 本県農業の生産性向上
● 県産の農畜水産物PR
● ハワー・ツー・ガスシステムの技術開発
● 教員の働き方改革に係る今後の部活動の方向性

自民党誠心会 皆川 巖



- 新型コロナウイルスワクチンの接種体制の整備
● グリーン・ゾーン認証制度の展開
● リニア中央新幹線の整備促進
● 山梨県における強靱化への取り組み
● 中部横断自動車道長坂以北の早期事業化に向けた県の取り組み
● 県立八ヶ岳スケートセンターの譲渡と周辺地域の活性化に向けた取り組み
● 太陽光発電施設の適正な設置及び維持管理に関する条例
● C型肝炎対策
● 障害者の文化芸術活動の推進
● 子どもや子育て家庭への支援
● メディカル・デバイス・コリドー構想の更なる推進
● ワークেশン・推進による観光振興
● 農業農村整備事業の推進
● 二十五人学級拡大に向けた課題への対応

自由民主党・山梨 浅川 力三



- 総合計画の見直し
● 新型コロナウイルス変異株への対応
● 新型コロナウイルスワクチンの副反応による休業への対応
● 介護人材の確保
● 地域生活定着支援センター事業の強化
● 障害者就業支援施設の工賃向上
● 市町村等と連携した二拠点居住の推進
● デジタルトランスフォーメーションの推進に向けた取り組み
● 農業の担い手の確保・育成対策
● コロナ収束を見据えた観光振興
● 中央自動車道の渋滞対策
● へき地学校に代表される小規模校を有する市町村への支援

自由民主党新緑の会 市川 正末



- 感染症対策の強化
● 総合計画見直しにおける施策の形成と実現
● ひとり親家庭への支援
● 県産材の供給体制の整備
● カーボンニュートラル社会の実現に向けた取り組み
● 地場産業の活性化に繋がる県産ジューリーの魅力発信
● 「ハイ・ぶじのくに」の更なる推進
● メディカル・デバイス・コリドー構想実現に向けた静岡県との連携
● 中部横断自動車道の静岡・山梨全線開通に向けた地域活性化の取り組み
● 燃料電池に関する今後の取り組み
● 県土強靱化
● 少人数教育の推進に向けた今後の取り組み
● 県立男女共同参画推進センターの集約化

未来やまなし 望月 利樹



一般質問

- 富士山登山鉄道構想
● 予算流用の考え方
● 富士山火災対策の推進
● 富士・東部地域における看護士の養成・確保に向けた取り組み
● 今夏における富士山来訪者への感染症対策
● 須走道路・御殿場バイパスの開通を契機とした観光振興
● 東富士五湖道路を中心とした広域道路ネットワーク整備

渡辺 淳也 (自民党誠心会)



- スポーツの成長産業化
● ふるさと納税の更なる確保に向けた取り組み
● 峡南地域の都市農村交流の推進
● 信玄公生誕五百年記念事業
● 地域プロモーション
● 富士川汚泥問題
● 災害廃棄物の処理
● 市町村管理道路の橋梁やトンネルなどの老朽化対策

遠藤 浩 (自由民主党・山梨)



- 国道三百号中之倉バイパスの整備
● 早川芦安連絡道路の整備
● 青洲高校周辺の歩道等の整備
● 青洲高校の教育活動
● 中小企業の事業継続に向けた金融支援
● やまなし観光MaaSによる観光振興
● 果樹の生産振興
● 笛吹市内における防災減災対策
● 新型コロナウイルス感染症の影響下における学校行事の実施
● コロナ禍におけるU・Iターン就職の促進
● 消費者保護対策

大久保 俊雄 (自民党誠心会)



- 富士急行株式会社提起した民事訴訟
● 県民資産創造会議
● 山梨県下の図書館の付加価値を高めるための山梨ふるさと記憶遺産プロジェクト
● 水素及び蓄電技術における県の戦略

宮本 秀憲 (自由民主党・山梨)



- リニア新駅の周辺開発に向けた県市一体となったまちづくり
● やまなしグリーン・ゾーン認証制度
● 飲食店などに対する支援策・消費喚起策
● 教職員によるわいせつ行為
● 種苗法改正
● 猫の愛護と適切な飼育に向けた情報発信
● 県有地の賃料をめぐる方針転換

向山 憲稔 (自民党誠心会)



- スマートフォンを活用した新型コロナウイルス感染拡大防止
● 教員の資質向上に向けた教員養成系大学との連携
● 甲府市池田通りの効果的な整備
● チャイルド・デス・レビュウの推進
● 介護福祉士養成施設の入学者確保
● 動物殺処分ゼロの取り組み
● 富士の介の生産振興とブランド力の強化
● 路面標示の計画的な管理・補修整備
● ストリートスポーツの普及促進

飯島 修 (リベラル山梨)



- 県産食肉の安定供給
● 昇仙峡の観光地としての価値向上
● 県立男女共同参画推進センターの充実強化
● がん検診
● 学校における食育の推進
● 県民の意見・提案の県政への反映
● 県有地の賃借料問題

佐野 弘仁 (公明党)



- 新型コロナウイルス感染症の本県の抗原定性検査の実施
● 新型コロナウイルス感染症、ワクチン接種体制
● 男性介護者への社会的孤立防止の支援
● ヤングケアラーの支援に向けた取り組み
● 本県の奨学金返還支援制度の継続
● 学校教育におけるDXとしてのデジタル教科書の活用
● 学校でがん教育における外部講師の活用
● 市町村の個別避難計画策定に向けた取り組み

永井 学 (自民党青雲会)



議案に対する各会派の賛否 (起立採決分) table with columns for proposal name and party response (賛成/反対).

議案に対する各会派の賛否 (起立採決分) table with columns for proposal name and party response (賛成/反対).

委員会レポート

総務委員会

委員長 渡辺 淳也



訴えの提起の件

問 富士急行株式会社への貸付地と他の県有地との公平性、県有地の適正化、県民利益の回復等についてどのように説明責任を果たしていくのか。

答 訴訟については、法廷において県の主張を展開するとともに、県有地の貸付に関する調査及び検証特別委員会の中で、訴訟進行上、支障のない範囲で県の考え方を説明していく。

また、他の県有地についても、現在、県民資産創造会議の枠組みの中で、公平公正なルールづくりの検討を始めています。これについても、議員に情報を提供し、公平性が担保される形でルール作りを行い、県民の財産である県有地の貸付の適正化を図っていく。



県立やまなし地域づくり交流センターの調査

※なお、本件については「係争中の住民訴訟の判決等で、県による事実認定及び法的解釈に錯誤があると判明した場合」は、即時、適切に柔軟に対応すること。県は全ての訴訟において、最低限の着資金で最大の効果を得るような訴訟委任契約となるよう努めること」等の附帯決議を決定した。

【その他の主な質問事項】
 ・警察業務感染予防対策強化事業費
 ・総合計画変更の件
 ・令和三年度一般会計補正予算(専決)

学力向上総合対策事業費

問 本事業では、二十五人学級導入の影響が及ばない市町村が実施する、先進的で特色ある取り組みに対し助成することだが、具体的にどのような取り組みとなるのか。また、三分の二と六分の五の二つの補助率が設けられているが、その違いは何か。

答 対象となる取り組みは、ICTを活用した遠隔授業等の実施や、地域の強みや特色を生かしたものであり、市町村が独自に行う先進的な取り組みに対して助成することとし、二十五人学級の導入が及ばない十二市町村が対象となっている。

補助率の違いについては、本事業は、市町村からの提案型の企画となっており、

教育厚生委員会

委員長 古屋 雅夫



【その他の主な質問事項】
 ・ワクチン大規模接種センター設置事業費
 ・介護分野就職支援金貸付事業費補助金
 ・子どもの死亡検証・予防策推進事業費



次世代型農福連携パワーアップ事業の調査

り、基本的には三分の二の補助率と考えているが、市町村の意欲を引き出し、事業効果を高めるため、特にすぐれた取り組みを提案した市町村については、補助率を六分の五に上げている。

農政産業観光委員会

委員長 鷹野 一雄



データ農業推進事業費

問 高品質かつ多収を同時に目指すデータ農業の技術開発が行われ、その成果が早く早く農家に普及することを期待しているが、技術の開発・普及に向けて、どのような工夫をしているのか。また、本事業の実施により、どのような成果が期待できるのか。

答 技術の開発・普及に向けては、総合農業技術センターや果樹試験場、現地農家における実証試験を並行して実施し、JA等とも連携しながら、できるだけ迅速に農家への普及に努めていく。また、データの収集・解析により、高品質・多収要因を見える化し、その技術を体系化することによって、本県農作物の飛躍的な生産性の向上が見込まれ、併せて、農家の収益力が向上するものと考えている。



風土記の丘・曽根丘陵公園ARミュージアム事業の調査

【その他の主な質問事項】
 ・新型コロナウイルスワクチン副反応休業助成金
 ・「ジャパンジュエリーフェア2021」開催支援事業費補助金
 ・やまなし教育旅行誘致推進事業費補助金

山梨県太陽光発電施設の適正な設置及び維持管理に関する条例制定の件

問 条例案上程に当たり、これまでのような経過で検討を進めてきたのか。

また、パブリックコメントには多くの意見が寄せられたとのことだが、条例にどのように反映したのか。

答 条例案については、有識者会議における意見や、県議会からの政策提言を踏まえるとともに、パブリックコメントを実施し、県民からも広く意見を伺う中で検討を進めてきた。

土木森林環境委員会

委員長 猪股 尚彦



けんせつ小町甲斐の会員との意見交換会

【その他の主な質問事項】
 ・県単独災害復旧費
 ・調停の件
 ・復旧治山費
 ・再生可能エネルギー導入目標策定事業費
 ・管理捕獲従事者等研修施設整備費

県有地の貸付に関する調査及び検証特別委員会

委員長 皆川 巖

副委員長 土橋 亨



県有地の貸付に関する調査及び検証特別委員会(皆川委員長)は、四月十五日の本特別委員会から委員数を十人から十六人に増員し、閉会中も引き続き、継続して審査を行っています。六月九日の本特別委員会では、平成二十九年から令和元年まで県の訴訟代理人であった細田浩弁護士に参考人としてお越しいただき、四月に執行部から本特別委員会に提出された「住民訴訟に係る検証委員会中間報告書」等についての意見を聴取しました。その後、執行部から提出された新たな不動産鑑定評価書等の資料について説明を受けた後、質疑を行いました。また、六月定例会開会日に中間報告を行うことを全会一致で決定しました。

さらに、五月二十日の本特別委員会で決定した「議会基本条例に基づく調査機関として県有地の貸付に関する専門家を設置すること」についての委員長案が示され、六月定例会の本会議に提案することとされました。

指定管理施設・出資法人調査特別委員会を設置

委員長 大久保俊雄

副委員長 向山 憲稔



指定管理施設の管理の業務又は経理の状況及び県が出資している法人の経営状況を調査する指定管理施設・出資法人調査特別委員会(大久保俊雄委員長)を七月六日の本会議において設置しました。

調査の対象は、四十九の指定管理施設と県が資本金等の四分の一以上を出資している二十八法人です。同委員会は、閉会中も該当施設・法人の審査や現地調査などを継続して行い、その結果を九月定例会に報告する予定です。

委員長	皆川 巖
副委員長	土橋 亨
委員	賢一 功彦 也毅 三浩 浩穂 基仁 子修 一尚 淳直 憲力 七友 正智 壁田 猪渡 志向 浅川 藤山 白井 桐原 越島 山田 猪渡 志向 浅川 藤山 白井 桐原 越島

委員長	大久保俊雄
副委員長	向山 憲稔
委員	鷹野 一雄 直毅 三浩 七穂 恭史 学 志村 直毅 力三 浩穂 七穂 恭史 学 浅川 力三 浩穂 七穂 恭史 学 遠藤 山田 流石 永井

山梨・静岡両県議会が「バイ・ふじのくに」推進議員交流会を開催

四月二十七日、山梨・静岡両県議会による「バイ・ふじのくに」推進議員交流会を開催しました。今回は、昨年九月に本県議会が主体となり開催した同交流会に次いで二回目の開催であり、静岡県議会が主体となり、富士山静岡空港で行われた静岡・山梨協働施設「空のしおり」のオープニングセレモニーへの参加や両県議会による意見交換を行いました。また、KADOBE OIIGAWA(かどでおいがわ)を訪れ特産物の購入等を行うなど、両県議会の交流を深めました。



「空のしおり」オープニングセレモニーで挨拶を行う桜本議長



新たな政策案作成等委員会を設置

四月十九日に開催された山梨県議会政策立案特別検討会議において「やまなし子どもを守る条例」及び「公共施設のトイレ等の環境整備に関する政策提言」の二項目が政策立案等の対象とすべき事項に決定されたことを受け、

やまなし子どもを守る条例案作成委員会



委員長	永井 学
副委員長	佐野 弘仁
委員	山田 一功 乙黒 泰樹 鷹野 俊雄 大久保 直毅 志村 直三 浅川 力三 遠藤 秀憲 宮本 七穂 山田 雅夫 古屋 好彦 藤本 友基 白井 正 桐原 仁

新たに二つの政策案作成等委員会が設置されました。両委員会は、五月二十日に第一回、六月二十五日に第二回の委員会を開催し、条例案の作成及び政策提言に向けて、研究及び検討を行っています。

公共施設のトイレ等の環境整備に関する政策提言案作成委員会



委員長	飯島 修
副委員長	猪股 尚彦
委員	望月 勝郎 河西 敏一 白壁 賢一 渡辺 淳也 水富 美男 岸政 人樹 卯月 利樹 望月 美男 清水 喜美 流石 恭史 杉原 清仁

9月定例会の予定

次回定例会は次のとおり開催を予定し、常任委員会については分散開催を実施する予定です。

なお、本会議については、CATV中継等をご覧ください。

9月 21日(火)	本会議(開会)	10月 1日(金)	常任委員会
27日(月)	本会議(質疑・質問)	4日(月)	常任委員会
28日(火)	本会議(質疑・質問)	5日(火)	常任委員会
29日(水)	本会議(質疑・質問)	7日(木)	本会議(閉会)
30日(木)	本会議(質疑・質問)		

※現時点での予定であり、今後変更となる場合があります。

議員研修会を実施

住民の代表である議員は、地域の実情と県の施策を確認・調査し、新たな政策条例や提言の策定に積極的に取り組んでいく必要があります。

そこで、議会改革、行政監視機能の強化、政策立案機能の一層の向上に資するため、大正大学の江藤俊昭教授を講師に招き、「二元代表制と議院内閣制との相違」「専決処分、再議、通年議会」「専門的事項に係る調査」についての議員研修会を実施しました。



ホームページ、会議録をご覧ください



県議会に関する各種情報を、ホームページからご覧いただけます。また、本会議の会議録については、県議会ホームページの会議録検索システムのほか、県立図書館、最寄りの各地域県民センターでもご覧いただけます。



山梨県議会 検索